

『地域公開保育』アンケートより一部抜粋

11月9日(木)に開催された地域公開保育には、坂地区の民生委員児童委員の皆様を始めとして、園児の祖父母の皆様、未入園の乳幼児とその保護者、教育委員会の皆様など40名余りのご参加をいただきました。坂みみょう保育園第三者委員の小迫清志様、見藤洋子様とは、一日園長として情報交換や相談もさせていただきました。

当日は、保育理念の下、今年度のテーマである『自己肯定感を土台に、自分で考え判断する子』を目指しながら、質の高い保育を目指そうとしている保育の現在(いま)を参観していただいたところ、いろいろなご意見ご感想をお寄せいただきました。

- 本日の保育形態である、オープンクラス(異年齢交流)は、子ども達の生き生きとした様子が見られ、楽しい時間となりました。年齢別のビデオも分かり易かったです。温かい環境で育つ子ども達のことをよろしく願い致します。(第三者委員)
- 皆いろいろ自分で考えながらあそびをしていることに、驚き感心しました。いつまでも自主性を育ててほしい。(地域)
- 玩具等が全て手作りであり、子ども達が年齢に関わらず、子ども達同士で協力しながら遊んでいるなど、参加して学ぶことが多く皆仲良しなんだなあ、想像力も養えそうだなあと思った。(地域)
- 子ども達の「これやってみたい!」をととても大切に、一人ひとりの成長を見守っておられました。大人が思いつかないような創造力が自然と身につけていることに驚きました。(地域)
- 年長さんが未入園の娘と遊んでくれましたが、「これ危ないかも?」と気かけながら遊んでくれる姿に、ほっこりしました。つついあれこれ「だめ!」と言って制限しがちなので、まずは見守ることが大切だな・・と改めて考えさせられました。第三者委員の方のお話にもありましたが、安心して保育をお願いできる園だと実感することができました。(未入園児の保護者)
- 今年は「流れる・動く・転がる」玩具が多くあり、子ども達のあそびが学びに広がる様子がとても伝わりました。子ども達の試行錯誤の様子も数多くありました。樋で遊んでいる子が、コースが上手くつながらず、何度も修理や改善を繰り返していました。自ら考えを深め、時間をかけて学びを深める教育を坂町の小・中学校においても取り入れていきたいと思ひます。今後も連携を深めさせていただきますと思ひました。(坂町教育委員会)

令和5年 12月の保育園だより

『子ども達のすてきな世界』

～サークルタイムと自己肯定感～

「今年の冬は暖冬!」と思いきや「寒波到来!」お天気ニュースを覗いていると毎日の気温の変化も激しく、子ども達の体調管理が気になる師走となりました。

先月の地域公開保育には、コロナ前の形に戻り、地域の皆様や未入園の保護者の皆様などにもご来園をいただきました。左記に記載しております以外にも、たくさんのご意見・ご感想をいただきましたが、未入園の保護者様の感想の中に、「地域の方などたくさんの方に見守られながら園生活を送っている園だと実感した。」というご感想がありました。

核家族化の進行や子育てに不慣れ、働きながらの子育て不安など、保護者の皆様の負担も大きくなっているのは確かだと思ひます。人と人との繋がり、大きな力にもなりますので、子ども達を地域のみんなで守り育てると意識が、これからの時代の中で、とても重要になると思ひます。

坂町の中にある保育園として、いつも地域の皆様にはお世話になり、保育環境作りへのご協力も惜しみなくしていただいておりますので、職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。

今後子ども達を真ん中に、保護者が、保育・教育現場が、地域が、行政が、それぞれの立場や違いを乗り越え、目指す方向性を確認することで、新たな価値を生み出すことのできる学び合いを、保育園から発信しながら、育ちを繋げる役割は重要だと思ひしております。

我が園の子ども達は、人懐っこくパワフルです。オープンクラスへの取り組みや園庭環境の中でのあそびを通して、異年齢が関わり合いながらあそび姿の中から、小さいクラスへの眼差しや大きいクラスへのあこがれなど、主体的にモノやコト(文化や経験)や人に関わる姿が日常いろいろな場面で見られます。

幼児クラスになると毎日サークルタイ

ムと称して、いろいろな話し合いが繰り上げられています。とは言え年齢により、クラスにより、いろいろな姿や表現が見られるのは確かです。

年少さんは、自分の言いたいことが優先です。友達が言ったことと同じことでも平気で、伝えたことで満足です。職員は言いたい気持ちを受け止めます。

年中さんは、友だちの言ったことを自分の中にも取り入れようとしながら、相手の意見や思いを聴こうとするようになります。自分なりの思考を大切にしながら、みんなの中の一人であることを意識させていくよう職員は投げかけていきます。

年長さんになると、自分の考えを言葉で表現しながら、友だちの考えや気持ちに気づき、解決策と一緒に考え、次に進めていくことができるようになります。職員は自分達で生活やあそびを決定できる充実感を味わわせるように配慮していきます。

今月は幼児の生活発表会が開催されますが、幼児さんのどのクラスも自分達の中にある大好きを職員とともに見つけ、楽器遊び、劇遊びへと繋げています。やりたい楽器、曲、役わりなど折り合いをつけながら楽しんでいる姿がありますので、生活発表会当日がゴールではありません。日々の表現あそびの延長線上に当日があると思ひて覗いていただければ嬉しいです。

今の世界は大きな変化の中にあると言われます。子ども達が言われたことを言われるようにする力ではなく、自分で好きなものを選んでお友だちと一緒に打ち込みながら創り上げる力がより必要となることでしょう。

生活発表会では、子ども達と職員がサークルタイムの中で、生活やあそびを見つめながら、自己肯定感を高め、主体的な活動の尊重をしながら、創意工夫したであろう過程に思いを馳せていただけたらと思ひます。子ども達の成長したすてきな世界をみんなで楽しみましょう。

(園長)

坂みみょう保育園

『幼児生活発表会』

幼児クラスでは、子ども達の興味関心をもっている表現あそびをご来賓もお招きして、ご家族一緒に子ども達の成長を確認し合える場になればと思ひています。「生活発表会」という形で参観をしていただきます。

ご来園の人数制限はありませんが、体調の悪い方はご来園をお控えください。

感染症の感染拡大が予測される場合は、開催を延期する場合もございますのでご了承ください。

つきましては、下記の事項についてご確認をお願い致します。

日時：12月9日(土)

場所：坂みみょう保育園2Fホール

- ①午前9時～9時50分 年少・ちゅうりっぷ組
れんげ組
- ②10時～11時 年中・すみれ組
ばら組
- ③11時10分～12時30分 年長・ふじ組
ひまわり組

- ※マスクの着用は自由です。
- ※それぞれの学年で10分間の休憩の時間で入れ替えをいたします。
- ※在園のきょうだいの保育希望の方は、担任までお知らせください。各クラスのプログラム終了までは在園のきょうだいの保育をいたしますので、ホールへは入りません。
- ※詳しい事は、11/27(月)に配布しております、生活発表会について(お願い)を再度ご確認ください。特に集合時間、集合場所(部屋)については厳守してください。
- ※『生活発表会のしおり(プログラム)』は、12/7(木)に持ち帰らせますので、ご確認ください。
- ※全体練習を12/5(火)に致しますので、幼児クラスは午前8時半までに登園させてください。当日と同じ服装でお願い致します。

- ① 保護者会さくらんぼ会との共催の行事について

もちつき会 12/14(金)

地域の方のご協力をいただきます。

- ② 生涯学習課との共催行事

家庭教育学級講演会 12/16(土)

坂小学校校長 木村 彰先生

- ③ 坂町社会福祉協議会との共催行事

お楽しみ会 12/21(水)

民生委員児童委員さんとの交流とともに、サンタさんより全児にクリスマスプレゼントをいただきます。